

釧路市中部地区コミュニティセンター（コアかがやき）

開催日時	平成 29 年 10 月 24 日(火) 18:30～19:47
会 場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	6 人
出席議員	秋田慎一 副議長 松橋尚文 議員（議会運営委員会委員、民生福祉常任委員会委員長） 金安潤子 議員（総務文教常任委員会委員長） 宮田 団 議員（経済建設常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員） 森 豊 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員長、議会広報特別委員会委員：司会）

意見	<p>以前は各所で見かけた政党の看板は最近ほとんど見なくなってきたが、美原に一部残っていたため、選挙管理委員会事務局に確認したところ許可していないとのことであり、担当部署の職員が撤去しに行った。公有地への看板の設置は、役所から貸し出しを受けた上で設置するものであるが、どう考えるか。また、役所にもチェック機能を持たせるべきであり、議員からも投げかけてほしい。</p> <p>観光立国ショーケースの取り組みを進めているが、まわりも国道沿いの公有地にもいまだに政党等の看板が見られ、観光客等に対する印象もよくない。</p>
金安議員	<p>総務文教常任委員会でも議論になっており、選挙管理委員会事務局が市民からの通報等があるごとに対処しているが、対応しきれていないようだ。公有地に看板を立てるのはそもそもだめであり、正していかなければならないという意見があった。</p>
宮田議員	<p>立ててはいけないところに立てている看板については、自分も善処していきたい。</p>

質問	<p>観光立国ショーケースなどの観光振興に取り組んでいるが、観光客が幣舞橋の上から夕日を眺める姿は、市民としても誇れるものであるが、冬場は歩道除雪がままならない状況である。今度、ボランティア団体を立ち上げ、幣舞橋の歩道の除雪を行うことにしたが、議員の立場で、このまちに対する思いを教えてほしい。</p>
----	---

宮田議員	ボランティア団体を組織し、歩道の除雪に取り組んでいただけることは大変ありがたい。歩道の除雪は市民からの要望が多い部分であり、議会でも議論になっている。通学路や病院付近などは優先的に行っているが、全ての歩道を除雪する財政的余裕がなく、市民の協力も得ながら取り組んでいるが、十分でない部分もあると認識している。釧路特有の気候の問題もあり、路面がツルツルになることも大きな問題と認識している。地域の方と連携してやっていきたい。
------	--

質 問	これまでも火力発電所建設やMOOのプール廃止、図書館建設などさまざまな問題があったが、いろいろ尾を引いて決着が遅くなり、市民の連帯感にとってマイナスである。市議会議員は、市民の意見をどのように把握しているのか。例えば、図書館や火力発電所などの問題は、事前にあのようなことになることが予想できなかったのか。
森 議員	火力発電所に関しては、事前の説明不足が言われており、議会としても理事者のほうへ話をしている。事業会社が建設地付近で地域ごとに説明会を開いたが、それでは足りないということで、プラザさいわいで説明会を開催した。市としても、さらに細かい説明を行うべく動いているところである。
秋田副議長	身近に市民と会う場面は多く、さまざま対話をしているが、火力発電所の問題では市民の意識にも濃淡があり、建設地周辺住民は敏感であるが、芦野、愛国、美原といった地域ではそうでもないといったこともある。日常の議員活動の中では、全市的な問題よりは、道路がどうか、市営住宅の階段がどうか、日常生活の困りごとを相談されることが多い。図書館などの大きな問題になれば、いち早くキャッチできることもあれば、マスコミ報道等で知ることもある。図書館の問題については、閉館中に本館の図書は借りられないのかといった相談はされても、図書館の建物そのものについて質問されることはなかなかないが、会派で新しく図書館を建設した自治体に出向き、実際に見て、どのような建て方がよいのか、費用負担はどのくらいかといった検討は行ってきた。

質 問	先日まちづくり基本構想の説明会が行われ、たくさんの参加者がいたが、議会として今後どう関わるのか。また、今後の展望はどうか。
-----	---

金安議員	まだ素案が出された段階で、先日の委員会で多少、議論しただけの状態であるが、今後の釧路市の根幹を担う基本構想であり、恐らく 12 月議会はどう取り組むかといったことが検討されるが、さらに時間をかけて練っていく。
森 議員	議会の議論から市民団体の立ち上げ等につながり、大きな議論になっていくこともある。

質 問	釧路市議会は大学や団体の調査などでも評価されていると思うし、今日の議会報告会の構成もしっかりしているが、参加者が少なく、もったいない話である。昨年等はどのような参加状況だったのか。
森 議員	昨年度はトータルで 94 人、平成 27 年度は 114 人、平成 26 年度は 90 人であった。議会広報特別委員会の中でも、PR の仕方についていろいろな意見があり、連合町内会や各種団体へ周知をお願いしたり、FM くしろにも特別枠をつくってもらい、正副委員長で 15 分程度の PR をしたりしている。また、広報くしろやチラシの配付などでも PR している。

意 見	議会報告会開催の周知に関して、広報くしろやホームページに書かれているものや、ラジオも聞いていたが、自分も町内会長をしている中で、いくら広報しても伝わらない人はおり、どう伝えるかは永遠のテーマであると思う。選挙権年齢が引き下げられたということもあり、ぜひとも高校生や学生など、若い人に知ってもらうべきであると思うので、学校なり生徒会なりに働きかけてはどうか。
森 議員	ご意見として受けとめたい。

意 見	過去に町内会長を務めたことがあるが、町内会の加入率が低く、心のつながり、市民の連帯感が弱くなっていると感じる。どのように連帯感を醸成するかが大事だが、議員としてもどのようにすればよいか考えてほしい。一斉清掃など、体を動かすことが手法の一つであると思うが、いろいろやってみることが大事だと思う。
秋田副議長	私も町内会長をしているが、地域における連帯感をどうするのが難

しく、試行錯誤している。戸建ての人はおおむね町内会に入っており、鉏路市全体では加入率が 50%を切るというのは数字のマジックのようなものがあるかもしれないと感じている。ただ、戸建てでも隣の人の顔が見えないということもあり、どういう連帯をつくるのかは、一市民として取り組んでいく。町内会の加入については議会の中でも議論になっているが、なかなか目に見える形になっていないこともあり、申しわけないと思う。まちづくり基本条例ができたので、これにもしっかり取り組みたい。

松橋議員 町内会加入率の計算式が、連合町内会に加入している町内会の世帯で計算しているため、連合町内会に加入していない市営住宅の自治会などは含まれていないこともあり、他都市と比べることも難しい。私も町内会長をしているが、10月 は加入促進月間で各町内会役員が未加入世帯を回っているが、歩いて実際に話をしないとなかなか入ってもらえない。

自分の町内会ではインターネットを活用した広報を行っており、それを見た方が、楽しい活動をしているということで家を建てて引っ越してきた事例もあるが、それぞれの町内会での活動が重要であると思う。ただ、事前に参加者を集約して行う新年会などは若い人がほとんど来ない状況にあり、話を聞くと時間に拘束されることは避けたいということであった。その一方、公園などで行う祭りなど自由に参加できる集まりには参加者が多いということもあり、今、町内会の事業形態を考えているところである。

意見 鳥取西中学校の生徒が、樹木柵に花を植える活動をしていたが、学校の先生が変わり、活動がなくなってしまったため、自分の町内会で引き受けて「あいさつ通り」ということで活動を続けている。まちづくり基本条例の中でも学校を通したコミュニティづくりに触れており、こういう場にも若い教員が入ってくる取り組みが必要だと思う。ここに参加している方は、まちづくりに一生懸命取り組んでいる方だと思うし、議員の皆さんにも取り組んでほしい。

森議員 この場に地域の方がもっと来ていただける環境をつくっていくよう、努力していきたい。